

健康的な食生活を継続して実践することは、個人の努力だけでは難しいのが現状です。年齢や性別、経済状況、健康への関心度等によらず、誰もが自然に健康になれる食環境を整備することを目指します。

食環境づくり

食品へのアクセス

情報へのアクセス

「食環境づくり」とは、人々がより健康的な食生活を送れるよう、人々の**食品へのアクセス**と**情報へのアクセス**の両方を、相互に関連させて整備していくことをいいます。

※「食品」に該当するものとして、食材、料理、食事の3つのレベルがある。

関係者に期待する主な取組

食品製造事業者・配食事業者・給食提供事業者

- 健康・栄養面に配慮した商品の開発・製造
(塩分控えめ加工食品・栄養バランスに配慮した弁当等)
- 美味しく手軽に減塩できるレシピ開発・紹介
- 野菜たっぷりレシピの開発・紹介
- 健康・栄養に関する情報発信

食品流通・販売事業者

- 健康関心度等に応じた販売戦略
(棚割り、価格、商品パッケージ・ポップ等の工夫)
- 美味しく手軽に減塩できるレシピ開発・紹介
- 野菜たっぷりレシピの開発・紹介
- 健康・栄養に関する情報発信

メディア

- 主な栄養課題等の情報発信
(食塩の過剰摂取、若年女性のやせ、働き盛り世代の肥満等)
- 食品製造事業者及び食品流通事業者等と連携した広報活動
- 美味しく手軽に減塩できるレシピの紹介
- 野菜たっぷりレシピの紹介
- 健康・栄養に関する情報発信

職能団体・市民団体

- 消費者の声を元にした、事業者への建設的な提言
- 消費者と事業者の適切な仲介
- 楽しく学べる機会の提供
- 多勢で楽しく食べる場所の提供
- 健康・栄養に関する情報発信

学術関係者

- 食環境づくりに関する研究
- 消費者への適正な情報提供
- 公平な立場で事業者を支援
- 栄養士の養成

行政

- 仕組みづくり
- 関係者との連携
- 成果のとりまとめ
- 科学的データの整備・公表

健康的な食品に手が伸び、意識しなくても健康に